

日本環境教育学会北海道支部研究大会

えぞCONEフォーラム

2020.3.7(土)&8(日)
in 札幌

日本環境教育学会北海道支部とえぞCONE、初のコラボレーション。
環境教育の実践者、研究者、学生、環境教育に興味のある方々...様々な角度から
環境教育に携わる人達で集まり、環境教育について話し合しましょう！

2020/3/7(土) 第1部 10:00~17:00

10:00-12:00 退官記念講演

北海道渡島大沼の水環境改善プロジェクト
～教育による環境改善15年間の取り組みと成果



北海道教育大学函館校
田中邦明 教授

13:00-15:00 鼎談：北海道における自然体験活動のこれまで・これから

高木晴光

NPO法人くろす野外計画社
黒松内ぶなの森自然学校



能條歩

北海道教育大学岩見沢校
日本環境教育学会北海道支部



田中住幸

NPO法人あそベンチャースクール
飯田女子短期大学



15:10-17:00 とことん話そう！ 座談会式分科会

1 自然体験活動の安全対策よもやま話

コーディネーター 田中住幸・陳倩倩 (北海道教育大学大学院)

経験の度合いや、実践者、研究者の区別に関係なく、
誰もが気になる自然体験活動の安全に関する話。
「こんな場面に出くわして、こうやって対処をしたんだけど...」
「こんな時ってどうしてですか？」や「あの時は、大変だったんだよね！」
「この(救急)グッズ便利だよ。」など、『自然体験活動の安全対策』を
テーマに分科会に集まったメンバーでのディスカッション(よもやま話)。

2 なぜ自然体験活動なの？

自然体験型環境教育のそもそも話

コーディネーター 高木晴光・居崎時江(埼玉県立大学)
田口夏美(北海道教育大学岩見沢校)

一口に環境教育といってもその範囲は地球環境問題(マクロ・地球規模的)から自然保護保全、自然そのものを知る・観察する(ミクロ・地域的)活動まで、広範囲にわたります。
自然の中での体験的環境教育活動を「自然体験型環境教育」と名付けるとすれば、その教育目標は何か、どんなねらいを持って体験プログラムづくりをすればよいのか。様々な視点からそもそも論を深めます。

3 地域における環境教育について

コーディネーター 岩淵渡(官民土木支援員)
大類幸子(黒松内ぶなの森自然学校)

「地域に根ざす」というけれど、みんなにとって、「地域」って？
地域で環境教育を進める際、どれぐらいの範囲を地域とするのか。それぞれのイメージもシェアしながら、地域における環境教育とは？環境教育は地域で何ができるのか？などなど、「環境教育と地域」をテーマに、実際に地域内で活動されている方、これから地域に入っていきたいという方...様々な視点から、ざっくばらんに話しましょう。

3/8(日) 第2部 9:00~17:00 日本環境教育学会北海道支部研究発表会

※発表件数の関係により
発表時間に変更となる
場合があります。

実践活動報告及び研究発表

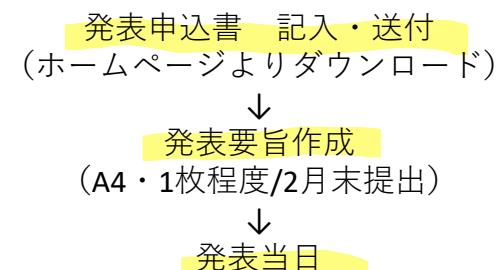
- 口頭発表 (発表12分+質疑応答3分) x 3組毎に総合討論15分
- ポスター発表 1時間

発表者募集中！

北海道を主なフィールドとした環境教育に関する研究/活動の発表者を募集中。
例年、研究者・実践者・学生...各分野の幅広い研究及び実践の発表があります。

研究や活動の成果はもちろん、現状、課題、今後の展望など、この機会にぜひ発信しませんか？
詳しくはえぞCONEホームページにて！

発表までの流れ



夜の部 17:30~ 懇親会

参加費別途・学生割あり

会場：北海道教育大学札幌駅前サライト
札幌市中央区北5条西5丁目7 sapporo55 4階
JR札幌駅徒歩2分(紀伊國屋書店札幌本店と同じビル)

対象：「北海道」「環境教育」というキーワードにピンとくる実践者、研究者、学生、興味のある方
参加費：無料 ※懇親会ご参加の方は別途参加費をいただきます
申込・問合せ：ホームページ) <https://www.ezocone.com> または「えぞCONE」で検索
メール) cone.hkd@gmail.com



環境教育の種を蒔こう、
芽を育てよう

共同主催：北海道環境教育学会北海道支部・北海道教育大学釧路校ESD推進センター
北海道環境教育研究会・北海道自然体験活動推進協議会(えぞCONE)